

急性膵炎の新規マーカー

Trypsinogen-2

トリプシノーゲン2

※本試薬は研究用試薬です。診断目的には使用しないで下さい。

トリプシンの前駆体であるトリプシノーゲンには数種のアイソザイムが存在しますが、急性膵炎発症時には特にトリプシノーゲン2が急激にかつ大量に血中に漏出することが知られております。また、トリプシノーゲン2は尿細管での再吸収の低さから、尿中ではさらに大きく増加します。そのため、トリプシノーゲン2は急性膵炎の新規マーカーとして有望であると考えられ、重症膵炎でも軽症膵炎より上昇の程度が高く高値が持続するという報告も見られます。

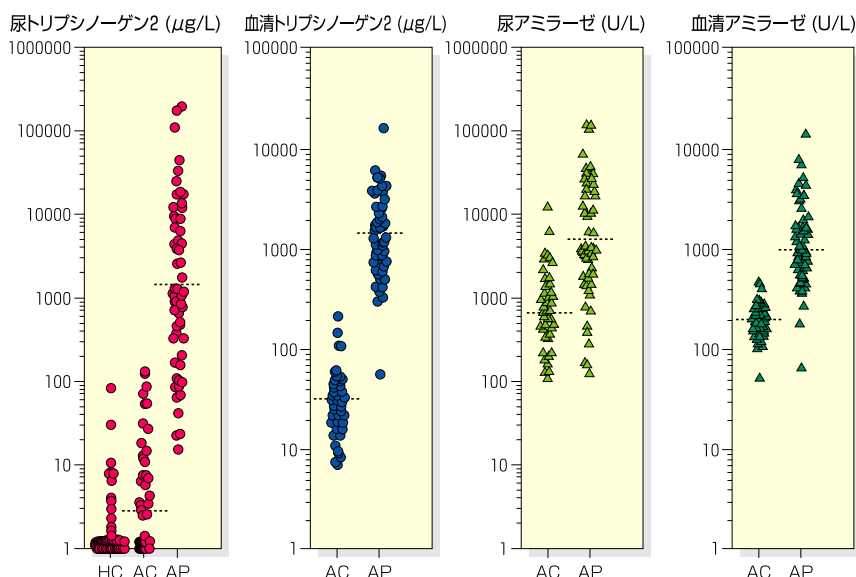
試薬の特徴

- トリプシノーゲン2に特異的なモノクローナル抗体を用いたサンドイッチELISA法による測定試薬です。
- 尿、血清中のトリプシノーゲン2の測定が可能です。
- 測定に必要な検体(サンプル)量は20 μ Lと微量です。
- サンプル調整は不要です。
- 約3時間で測定結果が得られます。

- 貯蔵方法 2~8℃で保存
- 包装単位 96回分
- 標準価格 120,000円

急性膵炎(59例)における

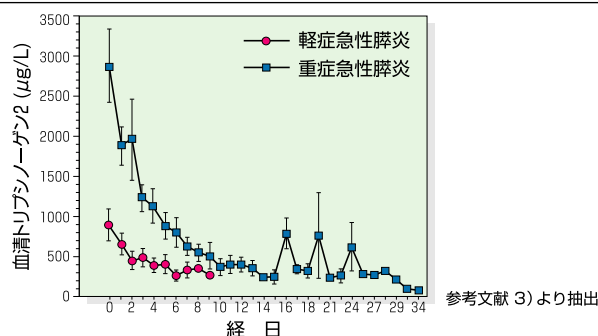
尿または血清中のトリプシノーゲン2およびアミラーゼ濃度



急性腹痛の認められない健常者(63例)と膵以外に由来する急性腹痛患者(42例)をコントロールとした。短い点線は各群における各マーカー濃度の中央値を示す。
参考文献 2) より抽出

HC : 健常者 AP : 急性膵炎
AC : 急性腹痛(膵炎以外)

重症および軽症急性膵炎患者の血清トリプシノーゲン2濃度(平均±標準偏差)の経日変化



※本試薬は研究用試薬です。診断目的には使用しないで下さい。
受託測定につきましても、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

参考文献

- 1) 北川元二, 成瀬達, 石黒洋, 早川哲夫, 他: 血液検査から, 救急医学26, 758-764, 2002
- 2) J. Hedstrom, V. Sainio, U.-H. Stenman, et al: Urine Trypsinogen-2 as marker of acute Pancreatitis. Clinical Chemistry, 42, No.5: 685-690, 1996
- 3) E. Kempainen, A. Hietaranta, U.-H. Stenman, et al: Time Course Profile of Serum Trypsinogen-2 and Trypsinogen-2- α 1-Antitrypsin in Patients with Acute Pancreatitis. Scand.J.Gastroenterol. 11:1216-1220, 2000

製造元: OY MEDIX BIOCHEMICA AB, Finland

輸入販売元: ユニチカ株式会社 メディカル事業部 生化学営業部

〒541-8566 大阪市中央区久太郎町4-1-3 TEL 06-6281-5021

〒103-8321 東京都中央区日本橋室町3-4-4 TEL 03-3246-7677

E-mail: medical@unitika.co.jp

<http://www.unitika.co.jp/medical/>